

# 大田支部だより

2014 秋  
No.50

URL <http://tokyosr-ota.com/>

事務局 〒143-0024 大田区中央3-15-1 社会保険労務士法人 神田事務所内

連絡先 メールアドレス [kaiin@tokyosr-ota.com](mailto:kaiin@tokyosr-ota.com) TEL: 5743-3151 FAX: 5743-3152

## おめでとう! 50号

第8代 大田支部長 神田 征輝

<Q: いつの写真でしょう?>

平成25年5月の支部長就任以来、新入会員があいさつに訪れてくれたときには、大田支部だよりの過去1年分を「これを読んでいたければ、支部の年間行事が把握できますよ」と言って手渡しています。支部紹介用のリーフレットを作成しようとも考えましたが、これほどまでに内容が充実している「大田支部だより」があるのだから、わざわざ新たに作成する必要もないかと思い、「大田支部だより」を配布しています。また、いただいた名刺にメールアドレスが記載されていれば、「次回からはメールでお送りしますね」と一言添えています。



私が入会した頃の事務局報は、宮尾益男先生が全会員宛にFAXで送信されていました。今でこそ、メールが普及して簡単に送信できますが、当時の負担を感じずにはられません。

以前は、主に支部活動の予定・報告、行政協力などの案内を広報する「事務局報」と、行政あいさつ、新入会員紹介、ゆうゆう社労士などの記事を掲載する「大田支部だより」の二本立てで発行されていた大田支部の広報誌。これらが、臨海統括支部の広報誌発行に伴い、それぞれを統合し更に内容が充実した新しい「大田支部だより」となって現在に至っています。

年4回のスケジュールでの発行で、毎回、総務委員のみなさんにはご苦勞をお掛けしています。この場をお借りして感謝申し上げます。

おかげで、支部の状況、今後の予定、会員の動向などを支部全会員で共有することができています。今後も支部全会員をつなく広報誌として、更に発展していくことを願っています。

<A: 平成20年6月です。あまり変わらない?>

## ■登録しよう! メールアドレス

お願い

引続き受け付けていますので、登録の済んでいない会員は [kaiin@tokyosr-ota.com](mailto:kaiin@tokyosr-ota.com) にご連絡ください。

- ・業務依頼の案件の紹介等はアドレス登録会員全員に送信し、活用が進んでいます。
- ・大田支部だよりについては、原則としてメール添付での送付としております。
- ・勤務会員は勤務先でなく自宅メールを登録することも可能です。  
迅速な連絡体制の確立にご協力をお願いします。

## 50号に寄せて

第5代 大田支部長  
宮尾 益男

(平 15.5～平 19.5)

現在の「事務局報」通算  
50号の発行となり、担当  
委員会のご尽力に感謝いたします。



私事で恐縮ですが、1979年5月から支部  
広報担当・事務局担当幹事を1999年4月ま  
で20年担当し、支部会議、支部イベント、支  
部研修会、城南地区協議会イベント、同研修会  
の都度「広報」を発行してきました。

当初は、和文タイプした文書をゼロックスコ  
ピーして郵送し、ファクシミリが普及してきて  
からは、FAX送信が主となり、その後「ワー  
プロ」(コンピュータソフトではなく、ワー  
プロ専用機)の出現により、「広報」作成も大分  
楽になりました。

今から18年ぐらい前になりますが、奥久支  
部長時代に「デジカメ」が出現し(なんとたっ  
た35万画素で当時35万円)支部会議後の広  
報で奥久支部長のカラー写真をパソコン編集  
し(16ビットのパソコンマルチ16で!)広  
報に載せ、カラーコピーの「支部だより」を発  
行したときは、東京会各支部長、関係官庁に配  
布して支部を大いにアピールしたものです。

現在の洗練された「事務局報」を拝見して比  
較すると隔世の感がします。現在の「事務局報」  
発行は定期的に、かつタイミングも的確で支部  
会員情報を提供しているので、非常に有益な  
「広報」となっていますが、今後はハードコピ  
ーでの発行から、支部ホームページに掲載して、  
支部会員が発行日に各自ID・PWで閲覧する  
ことになると思います。

そのようなことを思うにつけても、「時代」  
がかわり、自分自身が時代の遺物になりつつあ  
ることを実感しております。今後とも、現在の  
ような「事務局報」の発行が継続されることを  
期待しております。

第6代 大田支部長  
森部 和彦

(平 19.5～平 23.5)

「大田支部だより」  
50号発行おめでとう  
ございます。



「大田支部だより」の前身は、やはり「大田  
支部だより」でしたが、私が平成8年頃より大  
田支部活動に積極的に参加するようになり、  
支部会合で支部だよりの紙面の充実を図ろう  
と発案した関係で、奥久支部長の時、広報委員  
長として、紙面をB5版両面2枚4ページか  
らA4版両面4枚8ページに拡充させ、2月  
と8月の年2回発行することにしました。内  
容は、支部長の挨拶や副支部長の抱負、3行政  
の長の挨拶、支部の動向、支部活動の予定、研  
修や座談会の概説、新会員の紹介、社労士から  
の提言、私見論談、趣味等のゆうゆう社労士コ  
ーナーなど多くの会員の協力で楽しく、ため  
になる会報を提供してきました。宮尾支部長  
の時より大田政連との共同発行として、会報  
に政連コーナーを常設するとともに、もっと  
タイムリーな情報を会員に提供しようと当初  
は隔月で、その後はさらに内容を充実させ年  
4回定期的に「事務局報」も発行するようにな  
りました。その後、年2回発行の「大田支部  
だより」は平山愼一広報委員長のもとで平成  
24年まで続きましたが、「事務局報」と「大  
田支部だより」の両方の良い面を統合した新  
生「大田支部だより」として発行することにな  
り、郵便とメールで会員のもとに送られ今に  
及んでいます。従って、「大田支部だより」50  
号は、正確には「事務局報」発行から50号  
を迎えたこととなります。大田支部の情報の  
共有化は、東京会でも一番進んでいると思っ  
ています。「大田支部だより」の編集発行に係  
わる総務委員会の委員の皆様のご尽力に感謝  
申し上げます。

第7代 大田支部長

伊原 毅

(平 23.5～平 25.5)

「大田支部だより50号」  
発刊おめでとうございます。



私が大田支部長に就任した期間は平成23年4月より25年3月までの1期2年間でした。

支部長就任前、私の前任である森部支部長体制の中、副支部長を兼任しながら総務委員長をしておりましたので「大田支部だより」、旧「大田支部事務局報」を2期4年間担当させていただきました。通算6年間、記録によると第21号より第44号までの24回の発刊に携わったことは大変うれしく思っています。私が担当してから学校教育のキャリア教育研究会が発足し、また大田支部と東京会との間に臨海統括支部ができ大田支部としましても大きく変化のある時期でした。

3か月に1回の発行ですが、佐々木会員を中心に構成を行い、支部行事予告・支部活動報告、新人会員紹介、そしてゆうゆう社労士コーナーと会員の情報伝達と交流に大きな役割を担っておりました。発送の準備のときは委員全員で和気あいあいに行っていたことがいまは懐かしく想いされます。そしてここ数年は紙面からメール配信によるデジタル化へ変革しております。

社労士会法制定50周年に向けて大きく変革しつつある東京会とともに大田支部・臨海統括支部においてこの「大田支部だより」が会員同士の大きな絆の役割を担うことに期待をいたします。

大田支部 歴代支部長

- 1.小川 登(昭53.11～昭54.5)
- 2.内藤 英夫(昭54.5～昭58.5)
- 3.奥久 富士雄(昭58.5～平11.5)
- 4.長谷部 雄亮(平11.5～平15.5)

## 50号に寄せて

第21号からの編集長 佐々木 久美子

平成19年8月10日号から森部支部長・伊原総務委員長の下で担当させて頂くこととなりました。ここから先は敬称略で恐縮ですが、総務委員は神田・平山・唐澤・大西・半田と、3ヶ月に1回、和気藹々と編集会議を行っていました。何故編集長になったのか既に記憶はないのですが、手を挙げてしまったことは覚えています。開業してから2年経過し、一匹狼的な状況を寂しいと思っていたのかもしれませんが。

メンバーの入れ替わりはありましたが、総務委員全員で執筆者への依頼・校正を分担し、一言をめぐって、その言い回しが全会員に通用するか、メールでやりとりしたこともあります。写真は唐澤会員に主に担当頂き、安心です。イラストが良いか、どの写真にしようかと、今でも試行錯誤していますが、支部長の方針に合った雰囲気の記事になるよう心がけています。

担当当初から Microsoft 社の Word で原稿を作成しています。簡単にPDF化が出来る様になり、原稿の確認が楽になりました。いつも締切りに間にバタバタと仕上げる方法に、正副支部長・委員長・出稿頂ける方が温かくお付き合いくださっているのに感謝申し上げます。

編集長としては、早い時期に原稿に目を通せるのが楽しみです。普段のイメージと同じ雰囲気原稿は半分くらい、実は熱血なんだ〜とか、おっ！手堅いな、視点がクール、本当はやさしいんだと、意表を突かれ、仕事ぶりがうかがえます。行事が年々グレードアップしていくのも実感します。最初の意気込み、翌年に改善された様子、少しずつ変化していることがわかります。上手くお伝え出来ていると良いのですが…

大田支部の温かさ、活動の楽しさを具現化できるよう、これからも宜しくお願いします。

## OTA ふれあいフェスタ 2014

今年度でOTAふれあいフェスタは25周年を迎えます。2020年の東京オリンピックに向けて国際都市をイメージした「地域力！国際都市おた～みんなに愛されニコニコ25周年～」のキャッチコピーのもとで開催されます。大田支部の参加によって、社会保険労務士が多くの区民・都民に認知される機会となっています。

今年も当日運営にご協力いただける会員を募集します。半日・1日、また勤務・開業の別は問いませんので、積極的にご参加下さい。

日時 : 平成26年11月2日(日)・3日(月) 10:00~16:00

会場 : 平和島競艇場(水のエリア) 雨天決行

内容 : 年金・労務相談コーナー、ゲームコーナー(魚釣り等)、広報活動

申込 : 10月11日までにメール又はFAXで

## 表彰及び特別研修・労働保険年度更新打ち上げ

平成26年度の労働保険年度更新における、臨時労働保険指導員の業務もお蔭様で無事終了することができました。ありがとうございました。

本年度の局長表彰は大西紀子先生・半田美波先生、署長表彰は平山幹大先生と、3名の会員が表彰を受けることになりました。年度更新の打ち上げと合わせ、表彰と監督署による特別研修を今年度も開催いたします。年度更新参加の有無や開業・勤務等にかかわらず、奮ってご参加ください。懇親会のみでもOK!です。

日時 : 平成26年10月30日(木) 15:00受付

15:20~17:00 臨時労働指導員表彰及び監督官による特別研修

17:00~19:00 懇親会(会費:3,000円)

会場 : アロマプラザ エスカール 3階 大田区蒲田5-37-1

申込 : 10月14日までにメール又はFAXで

## ■支部ホームページ リニューアル

デザインを一新し、より見やすく使いやすいサイトになりました。

<http://www.tokyosr-ota.com> (以前のURLから変更されています。)特に会員紹介のページは、地域の皆さまが近くの社労士を探しやすいように工夫してあります。ホームページをお持ちの方・メールアドレス登録がお済みでない方はこの機会にぜひご登録ください。詳しくは同封のプリントで!今号から連絡先アドレスも変更していますので、ご留意ください。

お願い

親睦会は会員の親睦を図り、そのための厚生事業を実施しています。大田支部の全会員が入会することとなり、年会費は3,000円です。年会費をお支払い頂いていない会員は、お振込みください。8月31日現在ご納入いただいた会員は以下の通りです。ありがとうございました。(50音順)

## 大田支部親睦会より

三井住友銀行 蒲田支店  
普通預金 3756545  
東京都社会保険労務士会 大田支部親睦会

安形 奈巳	釜野 憲司	田中 一芳	富士野 ゆかり
浅井 定雄	唐澤 昭人	田中 健太	藤谷 光春
伊尾 名王実	神田 征輝	田中 章二	二見 和宏
稲次 真樹子	神田 吉輝	土岐 辰男	本間 勤
石井 一久	北澤 正敏	徳畑 園恵	松田 茂
石橋 英生	菊池 尚子	中西 俊秋	松田 光弘
伊原 毅	小山 暢宏	長沼 節雄	宮尾 公子
大波 光	小嶋 厚	那須 広美	宮尾 益男
大西 紀子	佐伯 眞和	中山 章子	村田 實
大森 一郎	坂間 久子	長谷部 雄亮	持立 美智子
小川 浩司	佐々木 久美子	速水 万里子	森部 和彦
大塚 純子	佐々木 廣見	半田 美波	山口 和枝
小田 一秀	佐藤 泉	樋口 陽子	山本 満
落合 輝之左	佐藤 ゆかり	平尾 啓康	横山 成明
大沼 ありさ	菅原 俊一	平嶋 将次	吉井 信広
賀川 常子	鈴木 賀央里	平山 茂博	吉仲 千鶴
勝本 伸彦	鈴木 光子	平山 慎一	渡部 健二郎
加藤 正利	関 眞由美	平山 幹大	渡邊 尚子
加藤 陽子	多田 光弘	藤田 麻実	渡部 房雄
釜田 伊津美	田中 薫	富士野 淳	

## 新しい仲間

雨池 主計 (勤務等)

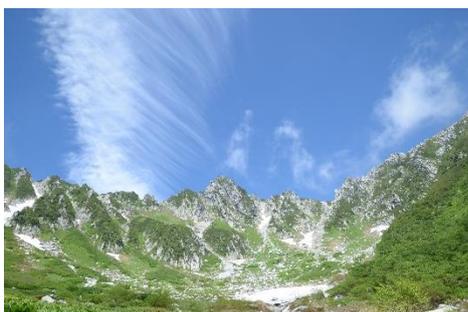


社労士登録を行い、もう少  
しで 1 年になります。この  
文章を書いていて思い出す  
のは、夏休みと言えば、遊び  
にも行かず、中学生や高校生  
と肩を並べて勉強！ 8 月最  
終週の日曜日にしなくてもとよく嘆いており  
ました。

私自身、人事の仕事についたのは、単純に人  
と接するのが好きだからという単純な理由か  
らそして、人事で働いていると必然的に社労士  
の資格に興味をもち、選択問題だから簡単に受  
かるだろうと、たかをくくっていたら取得まで  
に数年費やす結果になるとは……。高校野球に  
ちなんで、何年連続何回目の参加なんてばやく  
までに。

その間に子供は二人生まれてくるは、会社も  
数社変わったりとバタバタの中での合格。受か  
った年は申し込みぎりぎりまで、受験するかを  
悩み、あえて試験前に夏休みを取らず土日に模  
試を受けた程度だったので、つくづく、最後は  
問題との運かなあと思いました。

現時点では社労士としての活動は実施して  
おらず、私の得意分野の採用を中心に活動を行  
っておりますが、会社員も辞めたこともあり  
近々、本格的に活動を開始しようと思ってお  
ります。当原稿を読んでいた皆様もがたにも  
今後いろいろお世話になると思っております  
ので、ご指導、ご鞭撻をお願いいたします。



釜田 伊津美 (開業)



今年 2 月に入会しました  
釜田伊津美と申します。以  
前はその他登録で川崎北支  
部、引越しを機に開業しま  
した。

ずっと会社員で、何度か  
転職し主に外資系ハイテク企業の人事部にい  
ましたが、最後に勤めた会社で労基署の臨検が  
あり、是正勧告を受けたことが社労士をめざす  
きっかけになりました。

1 年にわたる対応が済んで、このままジェネ  
ラリストでいるよりもスペシャリストとして  
外から企業の成長をサポートしたいという思  
いが強くなり、退職し試験勉強に専念しました。  
勉強を始めると年金にも興味がわいて、今は個  
人サポートで年金にも関わっていきたいと考  
えています。

実務は、当たり前ですが試験の知識だけでで  
きる仕事はほとんどなくて、毎回あたふた、ひ  
やひや、どきどきしています。それでも最近  
はだいぶ度胸がついたのか、楽しくなってきました。

開業して日が浅いですが、いろいろな方に支  
えられ、育てていただいていると思うことが何  
度もありました。一つでも多く経験を積んで、  
早く、頼れる社労士、人の役に立つ社労士にな  
りたいと思います。

大田支部の先生  
方にはすでに何か  
とお世話になっ  
ておりますが、今後  
ともご指導の程  
どうぞよろしく  
お願い申し上げます。



↑

← 今回の風景写真は全て中央アルプス千畳敷カールです。

小嶋 厚 (開業)



大田支部の諸先生の皆さまはじめまして。25年4月より開業社労士としてお世話になっております。どうぞよろしくお願いいたします

ます。以下好きな俳句で自己紹介させていただきます。

「定年を<sup>うへな</sup>諾<sup>さ</sup>ひ<sup>き</sup>帰路や五月<sup>さ</sup>雨<sup>み</sup>るる」

23年6月に某生命保険会社の定年を迎えた後、社労士に興味があったため早速受験校に通い、運よく翌年合格し開業いたしました。

「凍<sup>いて</sup>瀧<sup>だき</sup>の白龍のごと年<sup>い</sup>新<sup>た</sup>た」

合格の翌年の年賀状にしたための俳句です。今後の志を詠みました。定年直前に介護事業の関連会社に出向していたこともあって、現在は医療・介護労務専門コンサルタントとして活躍できればと思っております。

「血<sup>ち</sup>抜<sup>ひ</sup>き<sup>す</sup>る鯛の目<sup>め</sup>悲<sup>かな</sup>し秋<sup>あき</sup>の海<sup>うみ</sup>」

趣味の1番は俳句。掲句は10年前の処女作です。趣味の2番は海釣り。葉山、逗子辺りで沖釣りをやっています。3、4がなくてゴルフは付き合い程度。

プライベートは以下の通りです。

「吾<sup>あ</sup>子<sup>ら</sup>の名<sup>な</sup>に美<sup>み</sup>帆<sup>ほ</sup>子<sup>こ</sup>洋<sup>やう</sup>平<sup>へい</sup>夏<sup>なつ</sup>の海<sup>うみ</sup>」

「よく笑<sup>わら</sup>ふ妻<sup>つま</sup>子<sup>こ</sup>が恵<sup>めぐ</sup>み柿<sup>かき</sup>若<sup>わか</sup>葉<sup>は</sup>」

子は二人。妻ひとり。海が好きなものですから子供には海に因<sup>よ</sup>んだ名<sup>な</sup>をつけました。父親の存在が極端に薄<sup>うす</sup>いよ<sup>う</sup>くある家庭<sup>けい</sup>です。

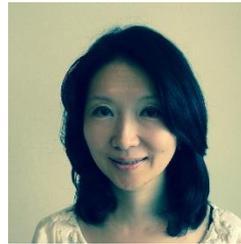
(好きな言葉)

「面白<sup>おもしろ</sup>きこと<sup>こと</sup>もな<sup>な</sup>き世<sup>よ</sup>を面白<sup>おもしろ</sup>く棲<sup>す</sup>み<sup>な</sup>すもの<sup>もの</sup>は心<sup>こころ</sup>なりけり」—高杉<sup>たかすぎ</sup>晋<sup>しん</sup>作<sup>さく</sup>辞<sup>し</sup>世<sup>せ</sup>の歌<sup>うた</sup>

「変化<sup>へんか</sup>は摩<sup>ま</sup>擦<sup>さつ</sup>を生<sup>な</sup>み摩<sup>ま</sup>擦<sup>さつ</sup>は進<sup>しん</sup>歩<sup>ぽ</sup>を生<sup>な</sup>む」—詠<sup>よ</sup>み人<sup>ひと</sup>しらず

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

渡邊 優子 (勤務)



昨年11月に登録させていただきました渡邊優子と申します。現在、ニッセイ情報テクノロジー(株)人事・総務部に勤務しております。

新卒で電機メーカーに入社して受付・秘書という業務で10年間勤務した後夫の転勤で退職をしたのですが、派遣社員として社会復帰をして研修会社に派遣されそこで社労士受験の教材を扱うという縁がありその後約8年前から今の会社で人事の仕事に携わる事になり社労士受験を決意しました。受験生当時は息子がまだ小学生で何かと親の手が必要な場面も多い中夫の協力を得ながら、家族ぐるみの苦勞を何年間も続ける訳にはいかないと自分でも驚くほど必死になって学習に打ち込み平成22年に2度目の受験で合格する事ができました。

合格後、会社では担当業務の範囲を広げてもらえるようになり頑張<sup>がんば</sup>って社労士になってよかったと思うと同時に社労士という存在に対する専門性の高さへの要求を日々実感し更なる自己研鑽の必要を痛感しております。仕事と家庭のやりくりで現時点では支部の行事に参加できず本当に申し訳ございませんが職場も住まいも大田区で大田支部には今後長らくお世話になる事と思<sup>おも</sup>いますのでご指導ご鞭撻の程何卒よろしくお願い申し上げます。



## 下町ボブスレープロジェクト

大田支部では、大田区でスタートしている「下町ボブスレーネットワークプロジェクト」を応援したいと考えています。そこで、今回はそのプロジェクトを紹介します。

### 1. 下町ボブスレーって何？

大田区の小さな町工場が、世界最高峰の「BMW」「フェラーリ」に挑むという壮大なプロジェクトです。

4年後の冬季平昌（ピョンチャン）オリンピックに向けて、大田区の町工場が集まり国産ボブスレーを作り、オリンピックに挑戦します。

ボブスレーは、欧米諸国では一流の車の主要メーカー「BMW」「フェラーリ」等が携わり、本格的に開発を進めているにも拘わらず、日本は「物づくりの国」と言われながら、ボブスレーの開発は行わず、海外製の中古を使いながらオリンピックに挑戦しています。

欧米の選手からは、「日本は『物づくりの国』と言いながら、なぜ自国で開発をしないのか？」と疑問も持たれているようです。

日本の製造業の空洞化が止まらない環境の中で、下町ボブスレーは大田区の町工場の技術力を世界に示し、大田区のために、日本の製造業のために、という思いをかけたプロジェクトでもあります。

下町ボブスレーの性能ですが、2012年12月の長野市開催のボブスレー全日本選手権女子2人乗りで、タイムは前年のタイムを大幅に上回り、あと0.1秒でコースレコードというぶっちぎりのタイムで優勝しています。

この記録からも下町ボブスレーの性能の高さ、大田区の町工場の技術力の高さが証明されています。

下町ボブスレーには、多くの大田区の会社が、製造や広報を無償で支援し、事務部門では会計分野をTKC中央会が協力しています。



### 2. 大田支部の方針について

社会保険労務士は国家資格者であり、地域密着の活動が要請されています。社会貢献活動の1つとして取組み、大田区の更なる発展に寄与したいと考えます。

### 3. 大田支部がお手伝いできること

#### (1) 金銭面について

現時点では3,000円からできる寄付金を検討しています。

#### (2) 労務面について

社会保険労務士の業務範囲として行える事務手続きの提供と、社会保険労務士の業務の範囲外としても、事務局からの依頼に基づいて、周辺分野の事務労務提供を検討しています。

大田区産業振興協会とは情報交換を続ける予定です。大田支部で一丸となってプロジェクトを応援したいと考えています。

<東京会野球大会速報> 平成26年9月6日  
11対1で善戦空しく惜しくも一回戦敗退  
来年はたくさんの方の参加と応援をよろしく  
お願いいたします。



## トゥインクルレース&ディナークルーズ

### <トゥインクルレース 大会実況>

猛暑が続く7月29日のまだまだ明るい夕方、大森駅から無料バスで大井競馬場に到着。バス停前の売店で、まずは競馬新聞を購入（1部約500円！、無料の出馬表もあります）。入場ゲート前で受付（親睦厚生委員の皆様、お疲れ様です！）して早速入場、4レース発走19分前。5時半の乾杯前に一勝負して完敗。1年ぶりで馬券の買い方も忘れてました。

会場の4階（ダイヤモンドターン）へ向かいます。中は馬場側がガラス張りで馬場が見下ろせます。エアコンも効いて綺麗で快適。バイキング&飲み放題で馬券も近くで買えます。5時半、支部長の挨拶もそこそこに乾杯〜。レースは30分毎なので馬券を買いに、食べ物を取りにと皆さん忙しそう。午後6時を過ぎるとお客さん（女性多数）が増えてあちこちで歓声を上げています。おっ、N先生が3連単（万馬券）を取ったようです（さすが!）。

初めての方も情報を仕入れながらチャレンジしてます。食事をしながら疾走する馬を見ているのも楽しい。あ、酔って買う馬券を間違えた…。最終結果、2勝5敗でブラマイゼロでした（ホッ）。（匿名会員）

### <ディナークルーズ>

個室を貸し切ったの2時間半、雨もひどくならず、専用のオープンデッキに出るとレジャー施設のイベントが見えたりと、お得感一杯でした。個室を出るとムーディーなカップルいっぱいでしたが、非日常を満喫出来ました。



## 着実に実績を残す大田政連活動！

政連大田支部会長 森部和彦

会員の皆様には、日頃より大田政連活動にご理解とご協力をいただき大変感謝しています。今年も7/29に大田区議会自民党と公明党、9/4に民主党の議員の皆様には社労士業務の理解と職域拡大へのご協力を強力にお願い致しました。昨年の要望活動の実績では、大田支部会員が中心に進めているキャリア教育に対し、大田区教育委員会の推薦を得ることが出来ました。小・中・高校において“働く意義”などについての授業が今まで以上に信頼を得て実施しやすくなりました。そして、今年も、例年にも増し労働条件審査の必要性和社労士の活用を強く訴えましたところ、具体的な依頼が大

田支部に参りました。いよいよ来年度から大田区の指定管理業者数社において、社労士による労働条件審査活動が始まりそうです。協力される支部会員の活躍が期待されます。

2年前から書面等により政連未加入会員の加入及び会費未納会員への会費納入の要請をしてきていますが、多くの会員のご協力により平成26年7月末現在では、昨年同月対比で5%弱の増加があり、東京会23支部で第2位の会費収納状況で、いよいよあと2%弱でトップに躍り出るまでになっています。大田支部だより50号を記念して、さらなる会員のご協力をお願いしたいと思います。大田支部政連活動を皆様とともにさらに前進させましょう。

## ゆうゆう社労士

佐伯 眞和（勤務）



大田支部だよりのゆうゆう社労士に原稿依頼が半田美波社労士先生よりあり、頭の中で受けるべきか否かで格闘していた。まさに毛根が刺激される思いであった。

ゆうゆう社労士に出てくる方は、開業社労士の先生方が多く、私のように勤務社労士の方は少ないのかもしれない。一国一城の主には敬意を表している。

平成22年4月より（一社）大田労働基準協会で労働保険事務組合の仕事をしていただいている。ハローワークには、雇用保険の資格取得届を始め離職票等の提出に時々出かけている。若い方が、失業手当の手続きに来所している数の多さには驚く、また、年配の方が真剣に求人票の掲示版を食い入るように見ている姿は働くことの大切さを思い知らされる。大森ハローワークの掲示版には大田区モノづくりコーナーがあり大田区のものづくり企業ではたらいてみませんか？と町工場の写真が掲載されている。ベテランの職人を補充するのは大変な状況で、職人は2～3年では育たないようである。若い人がとれない特に建設関係では、仕事の依頼があっても労働者がいないため工事を受注出来ないと聞く。介護の現場では労働条件が悪いため、職員が不足し施設に受け入れ枠があっても入居させられない状況にある。一方でブラック企業と呼ばれ、若者の使い捨ての企業も増えている。長時間労働、サービス残業、過労死等々労働者の置かれている状況は、年々厳しくなっている。

高齢者が職場に居ることで、若い人の雇用を狭める意見もあるが、3K（きつい、汚い、危険）な職場では、研修目的で外国人労働者を採用する動きもある。安い賃金で労働さ

せ、賃金の不払い等違法な使い方をしている。

日本全体が労働力不足であるようだ。

急激な高齢化の進行に対応し、高齢者が少なくとも年金受給開始年齢までは働き続けられる改正高年齢者雇用安定法が今年の4月施行された。「人生90年」時代が迫るなか、現役世代の半数は65歳を超えても働きたいと思っている。内閣府が35歳～64歳を対象に実施した高齢期の備えに関する調査で判明。一方、将来への経済的な備えが不足すると答えた人は7割近くいた。

私も社労士でなければ大田支部の会員の皆様と合うことなく今の仕事に就くこともなかったと思う。そういう意味では、パーサー社労士ではあるが資格を取って良かったと思っている。今は、乏しい経験と知識を駆使しながらなんとかやっている。

年金額も少子高齢化の影響で公的年金の支給水準は今後20%ほど目減りすると予想されている。今は健康で仕事もあり何とか平穩に暮らせる。これから来る年金だけの生活を考えると、寝つきが悪くなる。年金額の改定通知が何度となく年金機構から送付されている。これからの時代何歳になっても働かないと生活が維持できないのでないか、働く職場があることに感謝している。

今後は、高齢者が仕事をし続けるにはどうすることがいいのか、今は自問自答している。

働く意欲のあるすべての人に働く場を提供する社会の構築が望まれる。

## 勤務等部会 講演会

6月4日（水）入新井集会室で大田支部勤務部等主催の研修会が行われました。今回はメンタルヘルス対策という旬なテーマに焦点を当て、働く者のメンタルを専門とする精神科医吉野先生が講師を務めることもあって、開業の先生方含め50名の参加がありました。

現在、多くの企業では長時間労働・ハラスメント等によりメンタル障害を抱える労働者が増加し、労災申請・訴訟も珍しくない状況になっています。その上、電通事件をターニングポイントとして企業・管理者の責任が明確となり、具体的な対応を行わなければ、配慮したことにはならない厳しい判断が下されています。また、「うつ」の性質も自分を責める従来型から企業への批判・自己保身が特徴の「現代うつ病」の労働者が増え、より担当者の対応が難しくなっています。

先生はこの問題を解決するひとつの手段として、健康問題に合わせ重要な労働問題として捉え、発病すると想像以上の負担が会社・本人にもかかる為、予防的視点に立った労務管理・職場環境へのシフトが重要だと力説されました。その役割を担うのは労働関係のプロである社労士が重要なキーパーソンであることを何度も何度も繰り返しお話されたことが強く印象に残りました。

また、療養などで労働者の長期離脱があった場合でも、傷病手当金・障害年金など含め本人・会社へトータルで役立てることも可能であり、勤務社労士は企業内で存在感が増すことが出来、開業の先生は顧問先へあらたな提案を行えるのではと思いました。

今回は、時間的制約の中、多くのことを伝えたい吉野先生の思いと独自の語りとスピード感に圧倒され、時間があっという間に過ぎましたが、私を含め参加された方々が何を感じ、また掘り下げてみたいとお姿やお言葉がとても印象に残った研修会でした。

（釜野憲司会員）

## 平成 26 年度 夏季行事報告

日程	内容	参加者数
7月29日(火)	親睦トゥインクルレース大会	24人
8月27日(水)	親睦ディナークルーズ	30人

ご参加いただき、ありがとうございました。

## これからの予定

大田支部		
研修親睦旅行	9月28日(日)	～29日(月) 箱根強羅山荘
OTAふれあいFiesta	11月 2日(日)	～3日(月) 雨天決行
研修会	11月26日(水)	18:00～Luz大森 社労士が知っておきたい派遣業界の動向と労務管理
平成27年度 定期支部会議	平成27年 4月27日(月)	ゆうぽうと 臨海統括支部も

臨海統括支部 <a href="http://minato-sr.jp/rinkai2013/">http://minato-sr.jp/rinkai2013/</a> からお申し込みください。		
キャリア教育研究会	9月17日(水)	18:30～港区立男女平等参画センター(リブラ)
開業塾	9月19日(金)	18:30～品川区立総合区民会館第4講習室 (きゅりあん5階)
キャリア教育研究会	10月17日(金)	18:30～大田区立消費者生活センター
第1回必須研修会	10月22日(水)	13:45～または18:00～ きゅりあん イベントホール
ゴルフ大会	10月24日(金)	鳩山カントリークラブ
ボウリング大会	11月 6日(木)	品川プリンスホテル
勤務等部会主催イベント	11月12日(水)	大森東急イン
新春賀詞交歓会	平成27年1月22日(木)	ゆうぽうと
第2回必須研修会	平成27年2月12日(木)	未定

東京会		
野球大会	9月 6日(土)	大宮けんぽグラウンド
パーク・ファウン・パーティー	9月27日(土)	東京ディズニーランド
ゴルフ大会	10月 8日(水)	千代田カントリークラブ
講演・懇親旅行	11月30日(日)	～12月1日(月) 甲府 湯村温泉
新春賀詞交歓会	平成27年 1月16日(金)	ホテルグランドパレス
ボウリング大会	平成27年 2月19日(木)	田町ハイレーン

大田支部だよりに関しては巻頭の連絡先にメール・電話・ファクシミリにてご連絡ください。